

待ったなし！ 平時から備える災害対策 ～今こそ災害訓練のススメ～

甚大な被害となった能登半島地震から早くも1年が経ちました。いまだ被災地の復興の道は遠く、改めて災害の恐ろしさを感じずにはられません。遡ると、阪神淡路大震災、東北大震災といった大震災はもちろんのこと、風水害や大規模な事故なども含めると、我々はいつも災害と隣り合わせであると言えます。そして医療機関や介護施設では、発災と同時に様々な対応が求められます。

当委員会ではこれまでBCP研修会を開催してまいりましたが、今回はその取り組みに関する実例として、様々な視点に基づいた災害訓練の報告を、4名の講師によるシンポジウム形式で開催いたします。災害が起きれば職員どなたもその対応から無縁ではられません。経営者、災害担当実務者の方々のみならず、あらゆる立場、職種の方に聴いていただきたい内容となっています。多くの方の参加を願っております。

日時 2025年 3/27 (木) 14:00～16:30

会場 ウィンクあいち 12階 1203会議室
〈愛知県産業労働センター〉名古屋市中村区名駅4丁目4-38

プログラム

進行は変更することがございます

14:00 開会

発表

テーマ

発表者

①大規模災害訓練を振り返る
～大雄会12年間の取り組み～
社会医療法人 大雄会
地域医療連携室 部長
井尾 公治

②初めてのエマルゴ訓練
(災害対策本部立ち上げ訓練)
医療法人済衆館 済衆館病院
EMT科(救急救命士科)主任
中部大学 生命健康科学部
スポーツ保健医療学科
非常勤講師 救急救命士
野村 佳久

③地域で支える災害時医療

～名古屋市昭和区発

災害時の患者搬送訓練にみる

地域医療連携の取り組み～

共同研究：3病院災害連携会

・日本赤十字社愛知医療センター

名古屋第二病院

・社会福祉法人聖霊会 聖霊病院

・医療法人生寿会 かなな病院

医療法人生寿会

かなな病院在宅ケアセンター

企画室 市原 美恵子

④知多半島医療圏における

災害訓練の取り組み

医療法人赫和会 杉石病院

事務長 宮上 英善

パネルディスカッション

訓練を始めるにあたっての困難要因、注意点、対処法 等

座長

愛知県医療法人協会 会長

災害対策委員会 委員長

今村 康宏

16:30 閉会

参加費 (税込)

主催 / 共催 会員1名 5,500円

後援団体 会員1名 6,600円

会員外 1名 7,700円

主催 愛知県医療法人協会

共催 日本医療法人協会愛知県支部

後援予定 愛知県病院協会 愛知県精神科病院協会

お問合せ

主催 愛知県医療法人協会 事務局

☎ 052-228-3540

参加対象

医療・介護施設におけるすべての職員の方

定員

60名

申込期限

2025年3月~~14日(金)~~18日(火)

申込方法

愛知県医療法人協会 ホームページ

<https://www.a-iho.or.jp/>

→研修のご案内

→該当研修を選択

→参加申込フォームに必要事項を入力

→送信

お申込受付後【申込確認書】を3月3日(月)以降
順次メール送信

こちらからも
お申込みいただけます



以下をご了承の上お申込みください

1. 参加費は事前にお振込みいただきます
(詳細は【申込確認書】に記載します)
2. 定員に達し次第受付を終了いたします
3. 開催可能人数に達しない場合、開催を中止することがございます